

~~東京機械製作所~~  
~~労働条件改善~~

三東京機械製作所争議

支部名 第一、第二支部  
 参入人員 七百名  
 紛議 十日間  
 原因 四日間  
 期 間 (一) 十月及十一月皆勤の撤廃  
 (二) 停年制の實施(五十五才)  
 自昭和五年十二月二十八日  
 至昭和六年一月九日  
 解決條件 ① 十月及十一月皆勤の撤廃に  
 ついて現在規定の退職手当へ  
 停年制に限り三割増加のこと  
 ② 停年制實施は前月間延  
 長のこと 同時に技術体力を  
 考慮して五十七才迄延期すること

原 因 請負並價三割値下及定食  
 二割減反動による工場閉鎖  
 昭和六年二月十日より開始  
 現在罷業中  
 支部名 第一、第二支部  
 参入人員 七百名  
 紛議 三日間  
 原因 一日間  
 期 間 請負前貸し割撤廃  
 自昭和六年二月十日  
 至昭和六年二月二十日  
 結 果 目的達成  
 又加盟団体友誼団体の争議 拜七日精神  
 的物面的に應酬した。  
 △東京船大組合 陽台台同争議団  
 △関東船大組合 陽台台同争議団  
 △東京出版印刷労働組合 全連会争議団  
 △北原地方一四一労働組合 全連会争議団

△全国労働組合同盟 洋毛又争議団

組織部報告

苛酷なる資本の攻勢は前述の如く労働条件の  
 改善を求めて随所に争議を繰り出した。此の攻勢  
 に直面して、若し一度彼等が吾等の陣営に其の乗  
 ずべきと察見せんか直ちに第一、第二と限らない攻  
 勢を受けける。此の必然的状態は各職場に組織  
 の氣運を来らしめ、尙組織工場としても未組織工  
 場如何に組織工場の労働条件の底下を招来  
 し、あるかを知る。此の両面の攻勢の努力と吾  
 等の把握する主張とは漸次に好転し、其の組織  
 率は高率に發展した。此の支部を組織したが、支  
 部準備会として既に支部組織の運びに至りし  
 とするものは更に支部を数人として居る。  
 一、第一支部組織  
 班 日 昭和五年十月二十八日  
 工場名 株式会社山越鉄工所  
 人員 五十人

加入労働 労働条件の低下  
 二、第四支部組織

班 日 昭和五年十二月十五日  
 工場名 株式会社大野製作所  
 人員 六十名  
 労働 労働条件低下の不安  
 三、第五支部組織

加入労働 労働条件の改善  
 教育出版部報告

教育部は吾等の目的最行のためは其の原則  
 を不ずものにして、あらゆる場合を面して其の活動  
 を必要とする。今迄に於ては不活潑なる現状に  
 あつたが、實際に於ける吾等組合の状況を更に能  
 動的に示すべく將來の活動を期して方針に替へる  
 ものであるが其の基礎は懇談台の教育方針書